

◆新技術活用計画書・実施報告書の書き方について◆

九州地方整備局における新技術活用計画書の記入方法

新技術活用計画書・実施報告書

計画書作成段階においては、**黄色**で塗りつぶした項目（「施工概要」～「作業環境」）については記載の必要はありません。

作成日

受注者名

契約額(円)

工事期間

新技術施工期間

施工場所

施工概要 内容 全角1000文字以内。

対象数量 全角127文字以内。

新技術使用箇所 全角127文字以内。

施工（活用）概要資料
 選択されていません
※ファイルは30MBまでのものとしてください。

現場施工条件 全角1000文字以内。

●現場条件 ●周辺状況（病院、学校、鉄道の有無等） ●自然環境（騒音、振動、水質等）

障害 施工上で重大な障害や問題が生じましたか。
 無 有

障害の内容 全角127文字以内。

作業環境 陸上作業 水上作業 地下作業 水中作業 高所作業

活用理由 ※チェックボックスにチェックがない場合、入力されたコメントはNETISに登録されません。
 ※チェックボックスにチェックがある場合、コメント欄は入力必須です。

経済性
 工程
 品質・出来形
 安全性
 施工性
 環境
 その他 ()
 その他 ()

※注意
 システム上は、記載必要なしと記載されていますが、九州地方整備局では、NETIS技術の「コスト削減」「工期短縮」の効果分析を実施しておりますので、記入協力をお願いいたします。

・計画書作成段階において、「障害」を除く**全ての項目**について記入をしてください

黄色で塗りつぶした項目（「施工概要」～「作業環境」）についても記入してください
 特に、対象数量に関しては、**新技術のコストが推定できる「新技術部分の数量」**を記入してください

・実施報告書の作成について(-VE技術)
 「-VE」技術については、新技術活用計画書作成時より**大幅な変更や施工上で重大な障害や問題があった場合に、実施報告書を修正し、提出してください**

「-A」「-VR」技術および「-VE」技術で計画書作成段階において「施工概要」～「作業環境」を記入していない場合については、実施報告書、活用効果調査表（「-VE」は不要）の提出が必要となります

※「-VE」技術については、新技術活用計画書提出時から施工概要等の記載内容に大幅な変更や施工上で重大な障害や問題が無かった場合は、実施報告書の提出は不要です。
 新技術活用計画書を実施報告書として取り扱います。